

# 斜面防災世界フォーラムで 小学6年生26名が学習発表

11月18日(火)～21日(金)、東京都にある国連大学で開催された「第1回斜面防災世界フォーラム」に、市内の小学6年生26名が参加しました。

このフォーラムは、斜面災害とそれに関連する集中豪雨、地震、噴火、津波など「地球システム災害」の危険度軽減を図るため、地球規模での協力の枠組み構築と共同作業に向けて開催され



▲フォーラムの分科会で学習成果を発表する子どもたち

市では平成18年度から「12歳教育推進事業」に取り組み、小学6年生を対象に、子ども防災サミットや防災キャンプなど、次代を担う若者の育成に向けた防災教育を行っています。今回のフォーラム参加は12歳教育推進事業の取り組みが評価されたもので、「地すべり被災地の子どもたちの地すべり研究」と題した分科会に出席した子どもたちは、平成16年の台風災害で発生した土砂災害を中心に、災害の経験談・復興・予防など、学習してきた成果を発表しました。

この分科会には新潟県旧山古志村、フィリピン・レイテ島の子どもたちも参加し、それぞれの防災学習の成果が発表されたほか、研究者や行政関係者なども交え、災害の危険度軽減を図るための意見交換が行われました。

## 12歳教育推進事業で育んだ 防災教育の成果を発表

国連機関、大学・研究所、政府、民間人など多岐にわたる分野・機関が研究発表・情報交換を行いました。

### 参加した子どもたちの感想を一部ご紹介します



#### 討論から学んだこと

飯岡小学校  
越智大生 さん

討論では旧山古志村について意見を言いました。一緒に舞台に出た二人も、それぞれ自分の考えを持っていました。また、フィリピンの人たちは、ぼくたちと違う視線からの意見を言っていました。ほかにも市長さんや先生方の意見を聞くこともできました。世界フォーラムという大きな会で意見を言えたことをうれしく思います。いろいろな人の意見を友だちや家族、そして、西条市の人に伝えていきたいと



#### 発表から学んだこと

浦山小学校  
法橋真観 さん

旧山古志村の発表から、自分は地震をあまり経験したことがなく、地震による復興には時間がかかるなど、まったく知りませんでした。今回の発表で、旧山古志村の人たちやボランティアの人たち、そして、ほかの多くの人たちの支えがあったので、復興できたと思います。どんなに苦しくても、あたたかく見守ってくれている人に対して、感謝の気持ちを持つこと、あきらめたらいけないことなどを学ぶことができました。

子どもたちが12歳教育推進事業で得た知識や経験は「第3回子ども防災サミット」で発表されます  
開催日：2月6日(金) 13時30分～16時 場所：総合文化会館 問合せ：市庁舎別館学校教育課 TEL0897-52-1699